

第2回志布志市松山地域学校統合準備委員会 会議の概要

- 1 開催日時 令和8年3月18日(水)
開会 午後6時30分 閉会 午後7時45分
- 2 場所 志布志市老人福祉センター
- 3 出席者 委員16名(1名 Web 参加)
- 4 欠席者 委員5名

5 出席した職員等

教育総務課長	児玉 雅史	建設課長	富岡 裕
総務施設GL	橋本 淳二	建設課 建築住宅GL	福元 義仁
総務施設GSL	児玉 憲一	建設課 建築住宅GSL	奥吉 修也
総務施設GSL	徳重 康成		

※ 公開用議事録は、一部修正してあります。

◇ 会議の要旨

1 開 会（午後6時30分）

2 教育委員会挨拶

3 報告

- (1) 志布志市松山地域学校統合準備委員会委員変更報告
- (2) 志布志市松山地域学校統合準備委員会等設置規程変更報告
- (3) 松山地域学校施設整備基本計画（案）について
- (4) 各専門部会の進捗状況報告

<事務局報告>

意見等

- ・ 松山地域学校施設整備計画（案）について

A 委員

学校の屋内のみの計画となっており屋外での活動を考えた計画がなされていない。バリアフリーに配慮することも理解できるが、子供たちが生活する場所でもあるので遊具の設置や屋外での活動を考えた整備も検討してもらいたい。

事務局

本計画（案）は、学校の校舎や校舎の配置等を中心に作成したものである。遊具の設置の必要性や駐車場として活用予定の第2グラウンドの在り方、小学生、中学生での屋外での活動が違うことも認識しており詳細は今後検討していくことになる。

4 協議（午後7時5分）

- (1) 各専門部会の決定事項の承認について

<事務局説明>

- (2) 今後のスケジュールについて

<事務局説明>

B 委員

学校運営・教務部会での令和9年度児童生徒間交流事業について

次年度の教育課程の作成を11月頃から始めていく。9月から10月に予定している部会は児童生徒間交流事業について協議を行い、1月から2月に予定している部会は教育課程について協議をするのが良いのではないかと考える。

事務局

教育課程は、教育のまち松山の構築に基本となるものであるため時間をかけて協議を進めていきたい。

(3) その他

C 委員

気になる記事を読んだ。長野県に50人移住者がいる小学校がある。理由は、学力が上がるから移住したとのこと。私たちが期待するのは人口をどのように増やせるか。そのために学校をどのような施設にし、どのような教育が大事なのかということに人口が少しでも増えるような形で最終的に落とすどころが出来れば良いと考える。松山の学校で学びたいとなるような学校になるのが素晴らしいと思っている。

D 委員

細かなところまで協議がなされている。大事なことは基本理念である。創業と守成、いずれが難きという言葉がある。新しいことを作り上げていく難しさと、作り上げたものを守っていく難しさとどちらが難しいかという意味である。今は創業の難しさがあると思う。関わっている委員の方々は年度が変わると委員も代わっていく。しかし、基本理念は変わらないので委員は代わっても今後基本理念が継承されるよう引継ぎは行っていただきたい。

整備基本計画（案）は、様々な観点からまとめられている。様々な意見が出たときにどのような対応が考えられるかを考えることが大事である。

教育課程は、非常に大事な要素である。前期・中期・後期課程をどのように設定していくかを既に開校している義務教育学校や、令和8年度に開校する桜島学校の先行事例を参考にしながら、松山独自の教育課程、特色のある教育課程を作っていただきたい。

創業の苦しみはあるものの一方では楽しみでもある。期待を持てる前向きな学校ができていけば、地域の活性化が子供たちまでとつながっていく。今後も各部会で細かなところまで議論していただき、基本理念に基づいた良い形の学校ができればと思う。地域の方や保護者の意見を丁寧に聞き取って、議論を進めてもらいたい。

今後も、基本理念に基づいた学校を一緒になって作り上げてもらいたい。

5 閉会（午後7時45分）